

**学校名** 越谷市立大袋小学校

**所在地** 越谷市大竹147

**電話** 048-974-7756

## 1 本校の概要

本校は、創立145年目を迎える歴史と伝統のある学校である。「早寝・早起き・朝ごはん・読書・運動」という決まりがあり、進んで読書をする児童が多い。さらに、読書好きな児童の育成に向けて、読書環境の整備、地域や家庭との連携を図りながら読書活動を推進している。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・家庭や地域との連携

### (2) 実践の概要

#### ア 家庭読書の日(毎月23日)

月に1回家庭読書の日を設けている。ノーテレビ・ノーゲーム、家族で20分間の読書に取り組んでいる。取り組み後の感想を各クラス1名ずつ図書館前に掲示している。



#### イ 読書貯金通帳(年間)

年間を通して1～3年生は100冊、4～6年生は10,000ページを目標に読書し、記録をつけている。年間達成者には賞状を渡している。

#### ウ 年3回の読書月間

##### □読書ビンゴ(夏の読書月間)

9マスのビンゴ用紙を全校児童に配付し、ビンゴを目指す。9ジャンルの本を全て読んだらビンゴ達成となり、しおりがもらえる。



##### □読書マラソン(秋の読書月間)

読書マラソン期間中に1～3年生は20冊、4～6年生は1,000ページ以上の読書を目指す。目標を達成するとマラソン完走となり、しおりがもらえる。



##### □ポイントカード(冬の読書月間)

1冊につき1ポイントで判子をもらう。5ポイント貯まったらくじが引ける。くじには、折り紙のプレゼント、シール、一度に3冊借りられる券などが入っている。15ポイントが貯まったらしおりがもら

える。

#### エ 読み聞かせ(年間15回)

朝の読書タイムの時間にボランティアの方による読み聞かせを行っている。ボランティアの方に読み聞かせだよりを作成してもらい、読んだ本の一覧を掲示している。

#### オ 読書の日(毎週木曜日)

毎週木曜日を読書の日とし、昼休みの時間をつかって全校で読書をする。掃除の時間をなくし、40分ほど読書することができる時間を確保している。各学年に順番で図書館を開放している。

#### カ ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、おすすめの本を紹介し合う「書評合戦」のことである。文教大学の学生さんに協力をお願いして、5・6年生で取り組んでいる。まず、一人3分間の紹介文を考え、グループで競う。グループ代表、クラス代表、最終的には学年チャンプ本を決定する。



【3分間の原稿作り】



【投票の様子】

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ア 読み聞かせや読書の日取組により、本に親しむ機会が増えた。
- イ 年3回の読書月間や長期休みの貸出により、年間の貸出冊数が増えた。平均一人30冊以上本を借りることができた。
- ウ ビブリオバトルの実践により、表現力や本を選ぶ力が向上した。

### (2) 課題

- ア 本の冊数やページ数は上がっているが、読書の質が高まっているとは言えない。
- イ 情報センターとしての役割があまり果たせていない。

### (3) おわりに

今後さらに読書環境の充実を図り、読書活動の質を高めるための工夫に取り組んでいきたい。